

地区社会福祉協議会



地区社会福祉協議会は、各地区の自治会長、公民館長や民生委員子供会育成会、いきいきクラブ代表者などで組織され、4つの部会を中心に、さまざまな地域福祉活動を行っています。地域内ひとり暮らし高齢者の方を対象にした、食事サービスなども行っています。

第2層協議体会議



「生活支援体制整備事業」は、平成30年4月から全国すべての市町村で一斉に始まりました。この事業は地域住民が主体となり「支え合いの地域づくり」を目指すもので、その協議と実践の機能を有する組織として「協議体」があり、現在27名の委員で構成されています。

安心生活見守り事業



平成27年2月に、野崎地区の守り活動がスタートしました。見守り活動を通して支え合い・助け合いのできる地域づくりを目指しています。更に見守り活動のPR、認知症サポーター養成講座や声かけ訓練、居場所づくり活動、デマンド交通説明会等の外出支援活動も行っています。

野崎地区活性化協議会、いきいきクラブ、ほほえみセンターなどの活動



のぎき桜まつりでの玉入れ競技



いきいきクラブ輪投げ大会



ほほえみ祭りでの特技披露

「小地域福祉活動計画」策定委員

※ 策定委員は野崎地区協議体委員を兼ねる

No.	氏名	地域づくりに関する役職等	No.	氏名	地域づくりに関する役職等
①	筒井 雅治	小地域福祉活動計画策定委員会委員長 見守り隊総隊長 協議体委員長・区長会会長	⑭	益子 徳子	民生委員児童委員
②	松田 智裕	小地域福祉活動計画策定委員会副委員長 地区社会福祉協議会会長	⑮	村上貴美枝	民生委員児童委員
③	小川不二夫	民生委員児童委員(前任)	⑯	唐橋 洋子	主任児童委員
④	田中 和夫	公民館連絡協議会会長 見守り隊副総隊長	⑰	貝塚 幸子	主任児童委員
⑤	中島 秀訓	見守り隊副総隊長	⑱	西谷 善盛	下石上ほほえみセンター 運営委員会会長
⑥	稲見 崇司	民生委員児童委員(前任)	⑲	田中 栄啓	うすばほほえみセンター 運営委員会会長
⑦	新保 厚子	民生委員児童委員(前任)	⑳	工藤 明	のぎきいきいきクラブ顧問
⑧	反保多美子	民生委員児童委員	㉑	鳥羽 健児	のぎきいきいきクラブ会長 地区社協老人福祉部会長
⑨	伊藤 耕一	野崎地区民生委員児童委員協議会会長	㉒	鐘ヶ江由美子	地区社会福祉協議会副会長 地区社協企画広報部会長
⑩	藤岡 明	民生委員児童委員(前任)	㉓	南澤むつみ	地区子供会育成会連絡協議会会長 地区社協児童福祉部会長
⑪	中村 保子	民生委員児童委員	㉔	若目田日出芳	協力者 上石上いきいきクラブ会長
⑫	上野 博	民生委員児童委員	㉕	橋本 貴幸	民生委員児童委員
⑬	沼野井博樹	民生委員児童委員	㉖	山寄 昭宏	社会福祉法人 ひかりのぎき保育園園長
			㉗	渡辺 正	安心生活見守り事業主任 第2層生活支援コーディネーター

編集:野崎地区社会福祉協議会 連絡先:大田原市社会福祉協議会(Tel 23-1130) 令和2年3月発行

野崎地区

『支え合い・助け合い』の地域づくり計画

(第1次 小地域福祉活動計画 2020年度～2023年度)

小地域福祉活動計画とは？

将来を見据えて、私たちが住んでいる地域の良い所や課題などについて話し合い、みんなで協力しながら、『支え合い・助け合い(互助・共助)』の活動を進めるための「野崎地区社会福祉協議会」の計画です。

～ 目指す地域像 ～

- ① **びのび**
- ② **ざわざわ**
- ③ **きずな和くわく**

野崎地区の人口構成等

(2020年1月1日現在)

人 口	年少人口(0～14歳)	704人	世帯数	2,503世帯	
	生産年齢(15～64歳)	3,456人	高齢化率	大田原市	29.3%
	高齢人口(65歳以上)	1,893人		野崎地区	31.3%

野崎地区の特色

野崎地区は、大田原市の西部に位置し常川の流に沿い11の自治会で構成されています。国道4号線や東北本線が地区内を横断しており、東北本線野崎駅を中心に地域の活性化が様々な形で進められています。野崎地区は、野崎村の時代より農業や自営業を中心に暮らしている地域と、約45年前に造成された、野崎工業団地に立地した企業に従業する、県内外からの移住者で構成している住宅団地とに、大きく分かれております。農家でも徐々に農業に従事する人が少なくなっていますが、高齢者同士協力し農業を守りながら環境保全活動や、地区内育成会と協働で、生き物調査活動などにも取り組んでいます。

野崎地区では、11の自治会が一つになり上石上公園での『のぎき桜まつり』、野崎駅前広場での『夏祭り』、野崎中学校での『文化祭』などが毎年盛大に行われています。更に一部の地区では『お神輿渡御』『どんど焼き』などの行事も毎年行われています。地区内にある2つの小学校と1つの中学校では児童・生徒数が年々減少してきているものの、このような地区内行事に多くの子どもたちが積極的に参加しています。

そんな中、高齢者が中心となって運営している、「いきいきクラブ」や「ほほえみセンター」でも介護予防活動を兼ね、様々な活動が自治公民館などで毎日のように活発に行われています。

大田原市内には12の地区社協があります。それぞれの地区では、様々な形で地域福祉活動の取り組みが行なわれています。



県指定無形民俗文化財『城鉞舞』

天文14年(1545年)大田原資清が大田原城築城後、工役の農民に酒をふるまった際、石神村(上石上)の藤兵衛が酒に酔い、鍬や鋤を持ち、踊ったことが由来とされており、470年以上続く民俗芸能です。

～ 住民主体でつくる『支え合い・助け合い』の出来るまちづくりを目指して ～

野崎地区が取り組むこと、それは……

目 標	実現のための主たる具体的目標	関連機関・団体	推進スケジュール			
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1 のびのび (安全・安心)	① 子どもたちが安全に過ごせるよう見守り・遊び場の確保を進めます。 ② 外出支援・移動販売のニーズを把握し、仕組みづくりに努めます。 ③ 災害時にも助け合えるよう、防災意識を高める機会を促進します。	① 学校安全ボランティア・見守り隊・育成会・学童保育 ② 自治会・民生委員・JA・いきいきクラブ・見守り隊・ほほえみセンター ③ 防災士・消防団・自主防災組織・自治会・見守り隊・ご近所	調査・検討①	調査・検討②	実施	
2 ざわざわ (活性化)	④ 地区内の子どもからお年寄りまで交流できる場づくりを進めます。 ⑤ より魅力ある地域活動を進めるため、自治会・地区社協・見守り隊・協議体などの組織・体制を見直します。 ⑥ 若い世代も含め、未来を見据えた担い手の育成に努めます。 ⑦ 地域行事・見守り・居場所などのPR活動を充実します。	④ 幼稚園・保育園・小・中学校・高校生・大学生・活性化協議会・シルバー大学OB ⑤ 自治会・地区社協・見守り隊・協議体 ⑥ 自治会 ⑦ 自治会・自治公民館・野崎地区公民館	企画・調整 調査・検討① 企画・検討 調査・検討・実施	調整・検討 調査・検討② 実施 実施	実施 調査・検討③	実施
3 きずな ^わ 和 ^れ く ^わ 輪 ^く (人づくり)	⑧ 地域に出てこられない人を知り、きずなをつなぐ『おせっかいさん』を増やします。 ⑨ 子どもから大人まで、障がいや高齢について学ぶ機会を設け、支え合いの地域づくりに活かします。 ⑩ 日頃の近所のつながりを強めます。	⑧ いきいきクラブ・民生委員・福祉委員 ⑨ 地区社協・ボランティア・民生委員・福祉委員 ⑩ 自治会・自治公民館	調査・検討① 企画・検討 調整・検討	調査・検討② 実施 実施	実施	

話し合いで出された地域の課題・資源

野崎地区協議体会議による話し合い及び、アンケート結果からの内容

令和元年度

自治会数	11地区	地区社協理事・会員数	85名	見守り隊員数	248名	協議体委員数	27名
------	------	------------	-----	--------	------	--------	-----

地域 の 課 題	高齢者に関して
	子どもに関して

地域 の 資 源	土地(平地・林・空き地など)
	文化(神社・祭り・伝統行事・文化財など)

